

未来の富田林をあなたと描く市民会議

み ら とん
“Mira-ton 2018→19”

結果報告書

平成31年3月

富田林市

<<目次>>

I	実施概要	1
1.	実施目的	1
2.	実施方法	1
3.	実施内容	2
II	“Mira-ton 2018→19” 実施結果	3
1.	〔アイデア編〕 ～富田林のええとこ・ええものの PR 一緒に考えませんか?～	3
(1)	プロセス	3
(2)	グループワークのまとめ	4
(3)	〔アイデア編〕 のまとめ	14
2.	〔実践編〕 ～富田林のええとこ・ええもんを一緒に PR しませんか?～	15
(1)	プロセス	15
(2)	アイデアの再編	16
(3)	グループワークのまとめ	16
III	おわりに	21
IV	資料編	23
1.	自主活動報告	23
2.	完成披露発表会	25
3.	アンケート結果	26
4.	ニュースレター	35

I 実施概要

1. 実施目的

「富田林市総合ビジョンおよび総合基本計画」における基本施策「主体的な市民参加と協働によるまちづくり」の推進と実現に向け、地域人材の発掘や育成を図り、市民主体の取組の実現をめざすことを目的とする。

2. 実施方法

名 称： 未来の富田林をあなたと描く市民会議 “Mira-ton 2018→19”

実 施 期 間： 平成30年10月6日(土)～平成31年1月19日(土) (全5回)

会 場： 富田林市きらめき創造館 (Topic)

参加対象者：

区分	概要
市民	昨年度実施した市民会議 “Mira-ton 2017” 参加市民の内、応募された方
	無作為に抽出した18歳以上の市民1,000名の内、応募された方
	公募により応募された方
学生	大阪大谷大学の学生

検 討 手 法： 「富田林の魅力発信」をテーマに、参加者が抽出・選択したまちの魅力を発信するアイデアを考える〔アイデア編〕と、企画したアイデアを基に実際にPR媒体を作成する〔実践編〕の2部構成とし、下記の通りグループワークを実施しました。

	〔アイデア編〕	〔実践編〕
開催テーマ	富田林のええとこ・ええもののPR 一緒に考えませんか？	富田林のええとこ・ええもんを 一緒にPRしませんか？
進行方法	ワークショップ形式によるグループ討議	アイデアの完成に向けたグループ作業
グループ構成	年代・性別などを参考に 分けた7グループ	〔アイデア編〕のアイデア種別を基準に 分けた4グループ
進行役	全体ファシリテーター 市職員によるグループファシリテーター	全体ファシリテーター 参加者によるグループファシリテーター

3. 実施内容

	開催日時	各回テーマ	内容	参加者数
〔アイデア編〕	第1回 平成30年 10月6日(土) 14時～16時30分	富田林の魅力発見！	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション ・基調講演 ・市の情報発信の取組紹介 ・魅力の抽出・整理 	36名 ・市民32名 ・学生 4名
	第2回 平成30年 10月27日(土) 14時～16時30分	PRアイデアの企画！	<ul style="list-style-type: none"> ・アイデアの具体化 ・発表用資料作り ・発表&投票会 	34名 ・市民29名 ・学生 5名
〔実践編〕	第1回 平成30年 12月1日(土) 10時～12時	アイデア実現の最初の一步！	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ決め ・アイデアの整理 ・役割分担/スケジュール決め 	21名 ・市民18名 ・学生 1名 ・職員 2名
	第2回 平成30年 12月15日(土) 10時～12時	アイデアをカタチにします！	<ul style="list-style-type: none"> ・住民主体の活動紹介 ・PR媒体の作成作業 	20名 ・市民18名 ・職員 2名
	第3回 平成31年 1月19日(土) 10時～12時30分	完成披露発表会！	<ul style="list-style-type: none"> ・基調講演 ・PR媒体の作成作業 ・発表&投票会 	23名 ・市民19名 ・学生 1名 ・職員 3名

※市職員について、〔アイデア編〕は進行役（ファシリテーター）として参加のため参加者数としてカウントせず、〔実践編〕は参加者として参加しているため、人数にカウントしています。

Ⅱ “Mira-ton 2018→19” 実施結果

1. [アイデア編] ～富田林のええとこ・ええもんのPR一緒に考えませんか?～

(1) プロセス

[アイデア編] では、グループワークにより、参加者自身が、ひとに伝えたい・勧めたいと考える富田林の資源・魅力について意見を出し合ったうえで、7つのグループごとに何をPRするかを整理・選択し、それを広くPRするためのアイデアを考えました。

(第1回)

①自己紹介タイム



簡単な自己紹介でアイスブレイクを行いました。

②魅力の抽出と整理



富田林市の魅力（ええとこ・ええもん）を出し合い、種別ごとに分類しました。

③市の取組紹介



都市魅力創生課から、市の**魅力発信の取組**について紹介を受けました。

④アイデアの具体化



グループごとに、発信する**魅力**と**ターゲット**を絞り込んだうえで、**PR媒体**を決定しました。



(第2回)

①アイデアの戦略会議



PR媒体の実現に向け、**必要なもの**や**自分たち**でできることなど、意見を出し合いました。

②プレゼン資料づくり



発表会に向け、企画内容を模造紙にまとめ、**プレゼン資料**をつくりました。

③発表&投票会



各グループが企画したアイデアを**発表**しました。発表会後には、会場内で**投票会**を行いました。

④結果発表



投票会で**最多票**を獲得したグループには“**富田林のええもん賞品**”がプレゼントされました。

(2) グループワークのまとめ

①魅力の抽出と整理

グループワークでは、まず最初に、富田林の魅力について意見を出し合ったうえで、種別ごとに分類し、その中から特にPRしたいものをグループごとに決定しました。

<各グループが選択したPR対象>

グループ1

えび芋やなすびなどの特産物と農業

グループ2

スポットの一つである石川（サイクリングロード）やその周辺地域の魅力

グループ3

四季物語などのイベントが開催される寺内町

グループ4

たくさんの自然と住みよい住環境がある富田林のほど良い田舎と住みやすさ

グループ5

公園が多い、教育環境が整っている、などの子育てしやすさ

グループ6

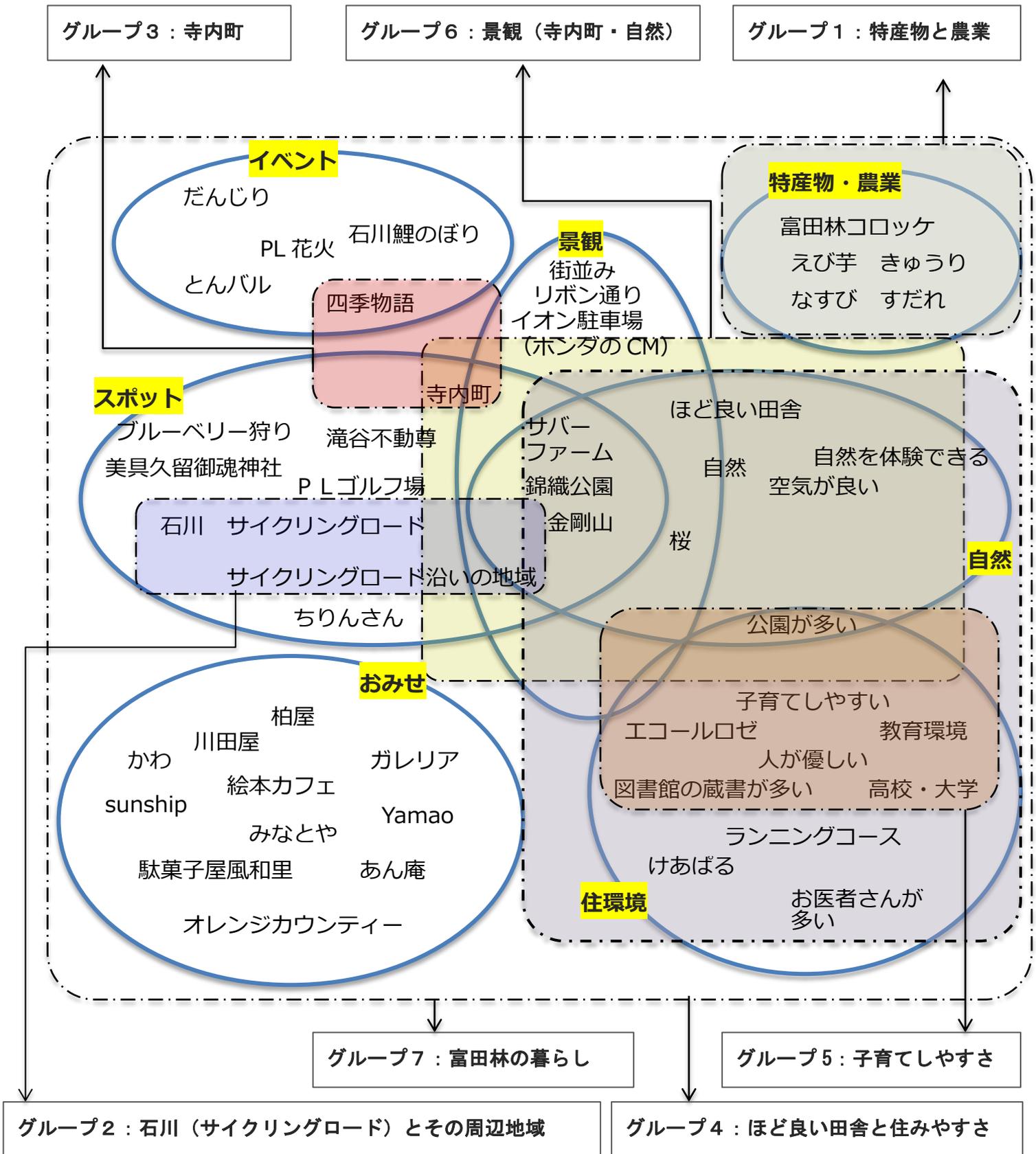
寺内町や自然などの景観

グループ7

お店やスポットなどの富田林の暮らし

次頁では、参加者が出した富田林の魅力についての意見を列挙したうえで、種別ごとにカテゴリー分けするとともに、グループごとに選択したPR対象を集約して掲載しています。

<意見一覧の分類>



: 種別ごとのカテゴリ分け



: グループごとに選択したPR対象

②アイデアの具体化

次に、PRアイデアを以下のテーマに沿って、具体化しました。

- ・誰をターゲットとしてPRするか。
- ・PR媒体を何にするか。
- ・PRの目的をどのように捉えるか。
- ・PRに必要なものは何か。

自分たちでできることは何か。お願いすることは何か。

③PRアイデアの完成

最後に、それらの意見をまとめてPRアイデアの企画を完成させました。

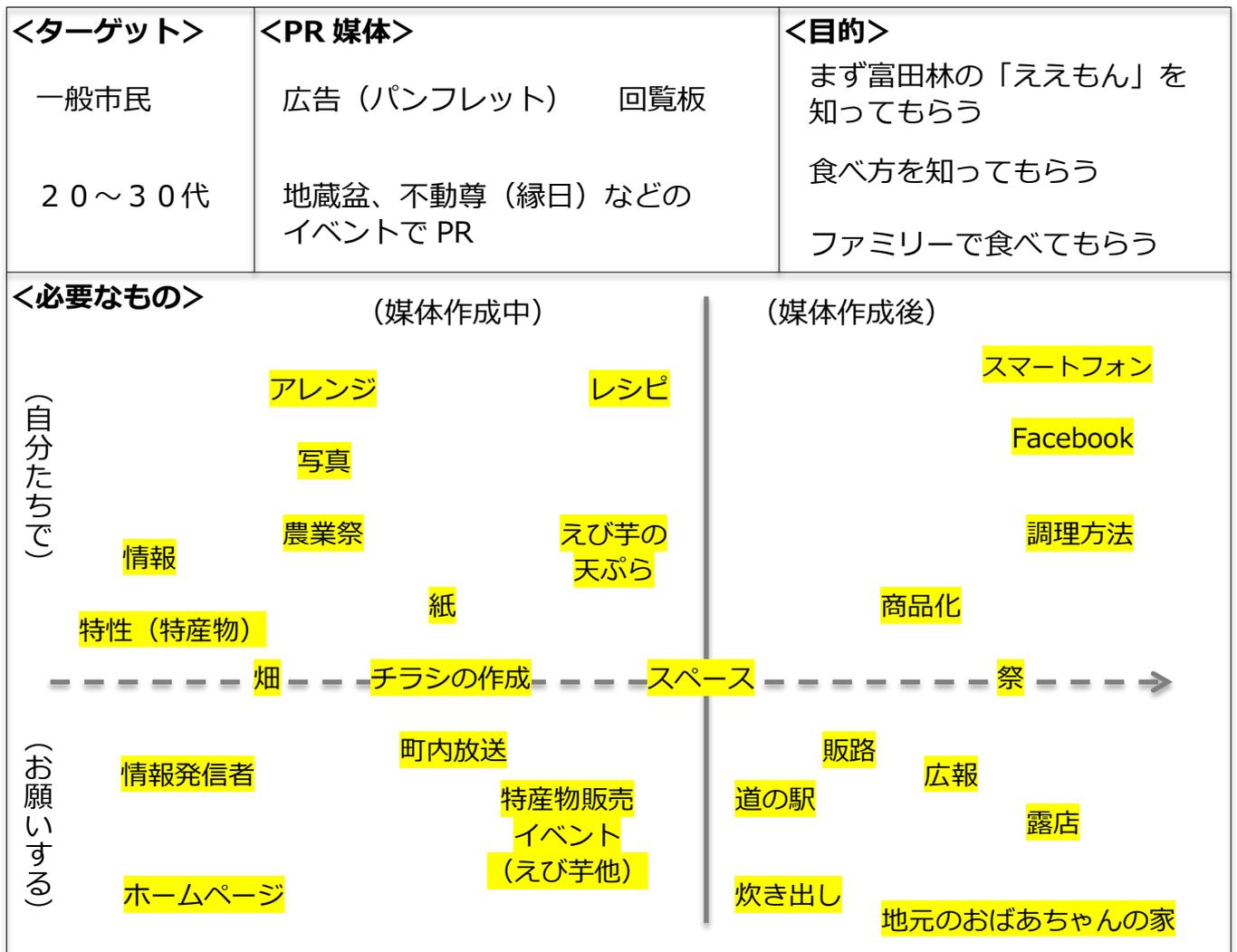
次頁から、②について出た意見をまとめるとともに、③で完成した7つのアイデアを紹介します。

(グループワークの様子)



グループ1：特産物と農業のPR

②アイデアの具体化



③PR アイデアの完成

次世代に繋ごう!!残そう!!地元の味

<ターゲット>

若い人やファミリー層

<PR 対象>

えび芋の味

<PR 媒体>

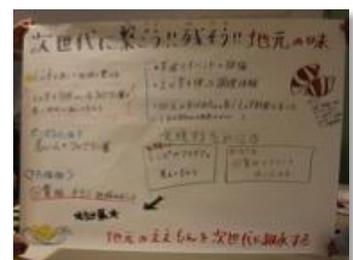
回覧板・チラシ・地域のイベント

<目的>

えび芋を子どものいるファミリー層や若い世代に知ってもらい、地元のええもんを次世代に継承する。

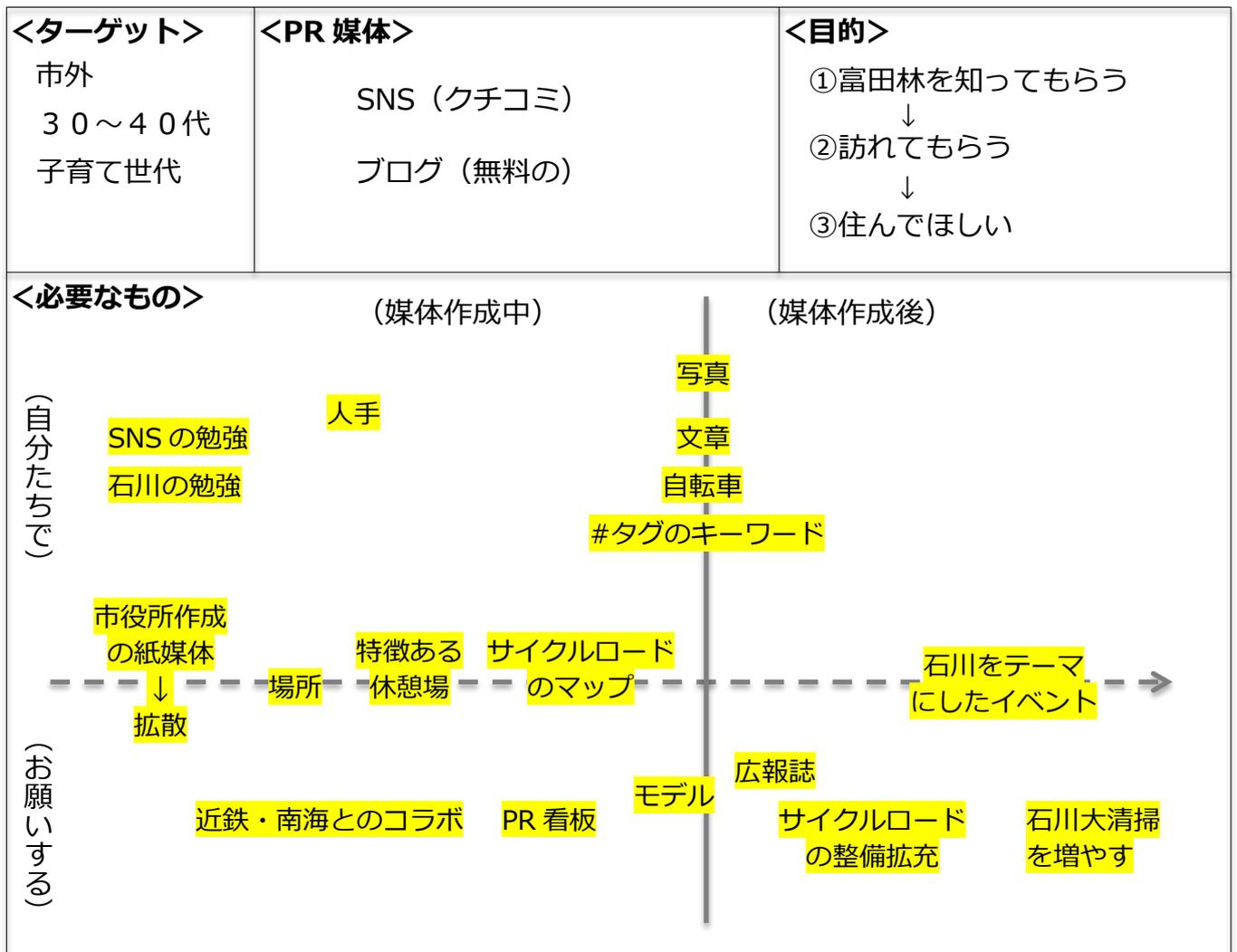
<内容>

えび芋のレシピや調理アイデアを考案し、それを掲載した回覧板やチラシを使用してえび芋をPRする。



グループ2：石川（サイクリングロード）とその周辺地域のPR

②アイデアの具体化



③PRアイデアの完成

銀輪でめぐるきらめきの石川

<ターゲット>
富田林市外の30～40代の子育て世代

<PR 対象>
石川サイクリングロードを中心とした地域の魅力

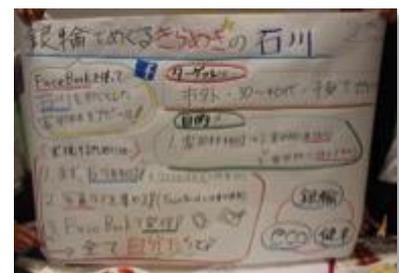
<PR 媒体>
Facebook

<目的>
富田林を知ってもらい、魅力を知った30～40代の子育て世代に富田林へ来てもらう。

<内容>
Facebookを使って石川サイクリングロードを中心とした地域の魅力を発信する。

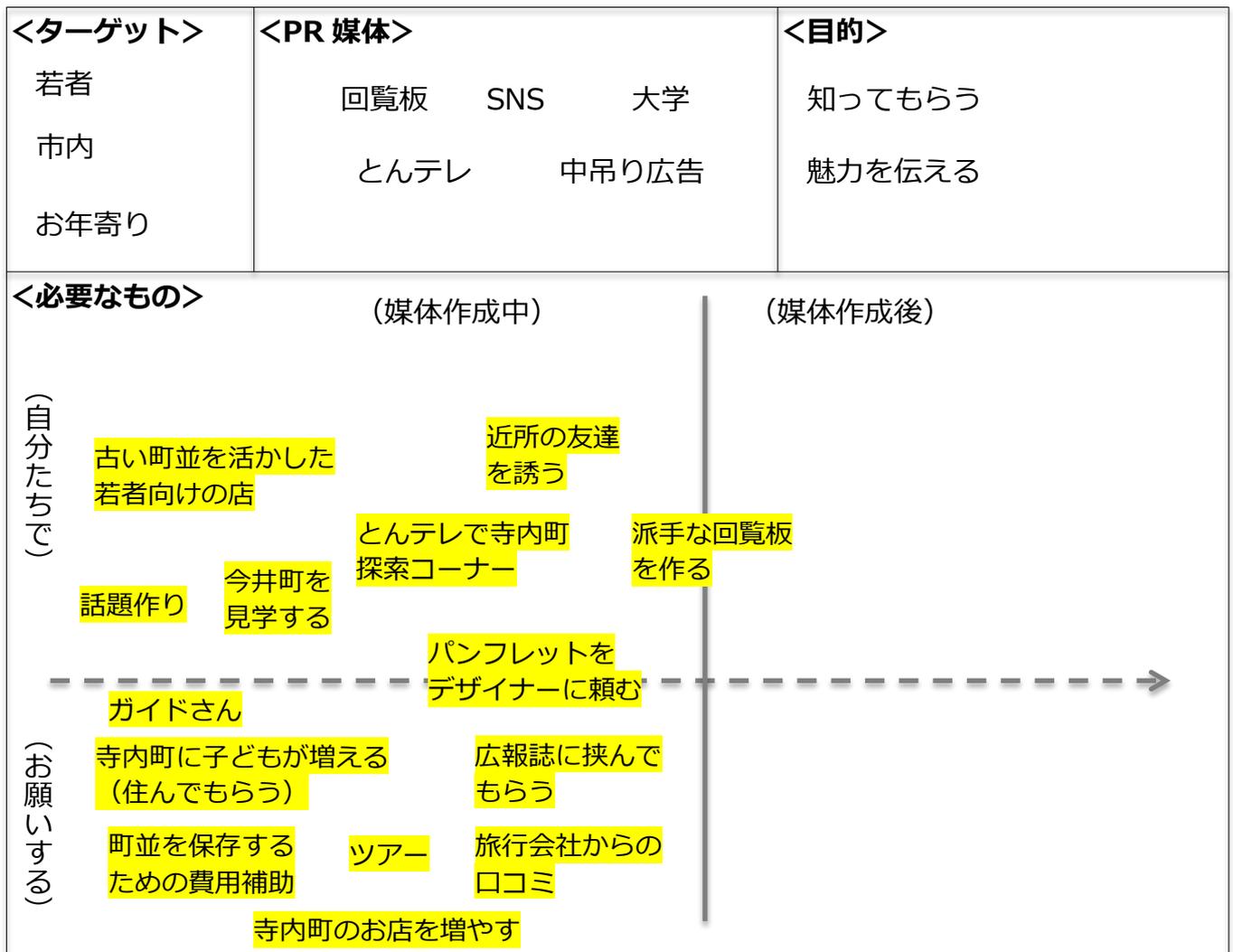


最多票数
獲得!!



グループ3：寺内町をPR

②アイデアの具体化



③PR アイデアの完成

知って！まわって！得する！寺内町

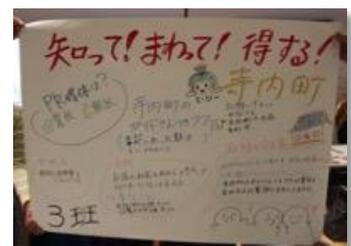
<ターゲット>
富田林市内のお年寄り

<PR 対象>
季節にあった寺内町の魅力 (なべ・ひなめぐりなど)

<PR 媒体>
回覧板・広報誌

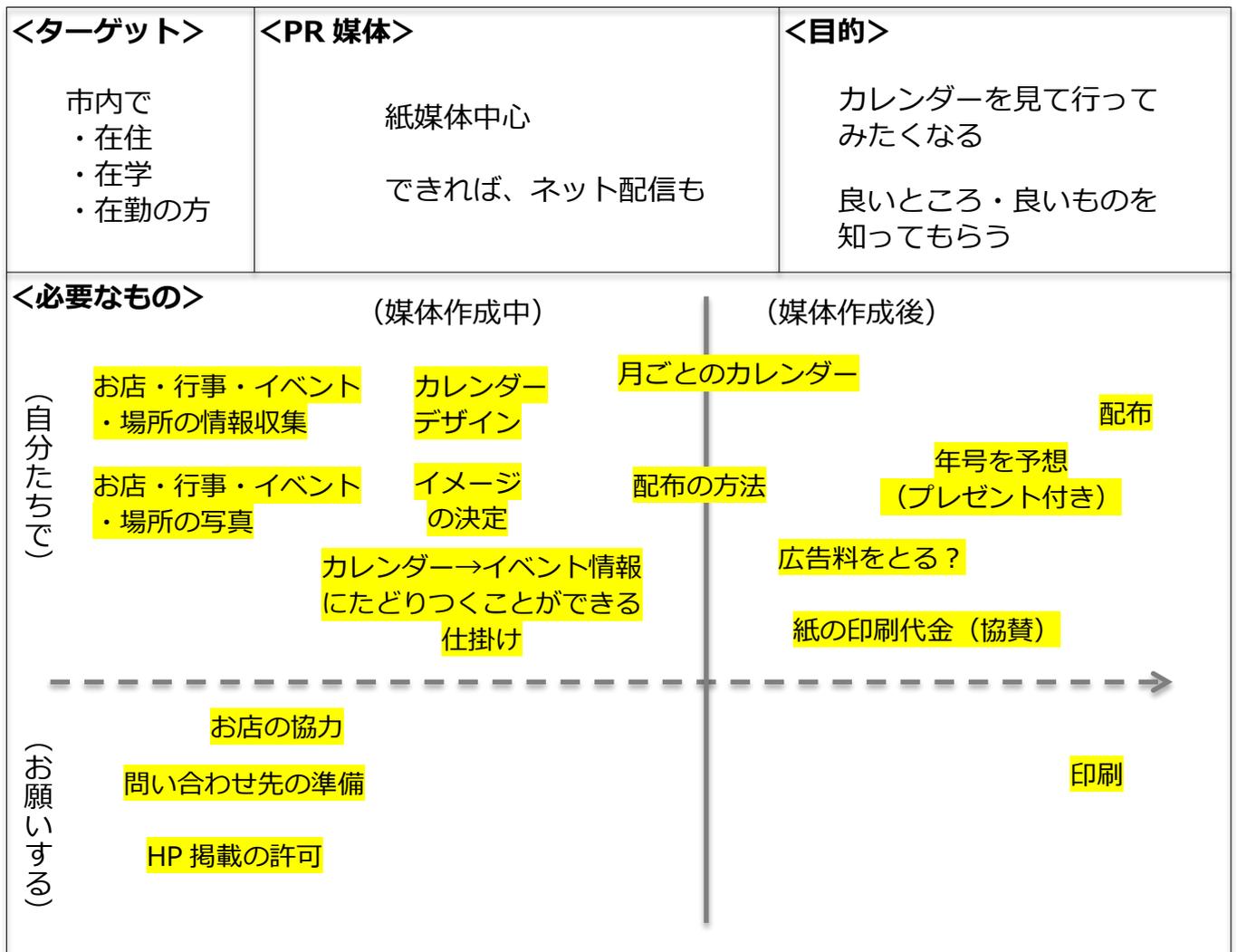
<目的>
寺内町のお店の利用者を増やすために、寺内町のリピーターを増やし、また、市内の人に魅力を知ってもらった上で、ゆくゆくは市外へ発信する役割を担ってもらう。

<内容>
寺内町のガイド付きツアーを企画し、その案内を各町会の回覧板に掲載し回覧してもらう。



グループ4：ほど良い田舎と住みやすさをPR

②アイデアの具体化



③PR アイデアの完成

Mira-Ton 20XX

<ターゲット>

富田林市内の方々 (住み・働き・学ぶ人)

<PR 対象>

程良い田舎と住みやすさ

<PR 媒体>

カレンダー (紙・ネット)

<目的>

程良い田舎と住みやすさを、見て・行って・知って・感じてもらうことで富田林への愛着、住みたくなる魅力を再発見してもらう。

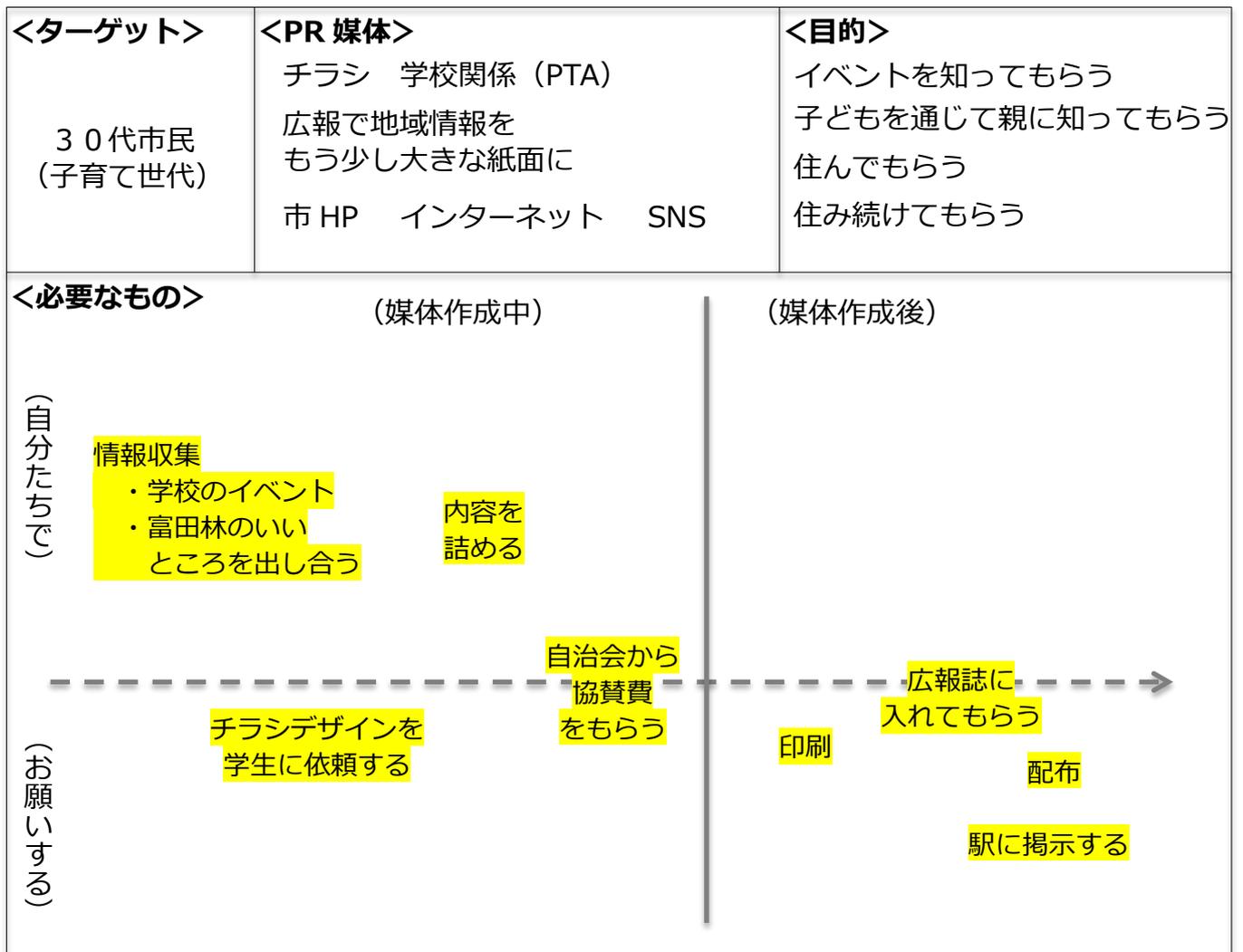
<内容>

写真、情報、イベント入りカレンダーを作る・配布する・広げる。



グループ5：子育てしやすさをPR

②アイデアの具体化



③PR アイデアの完成

イベント参加でハッピートッピー

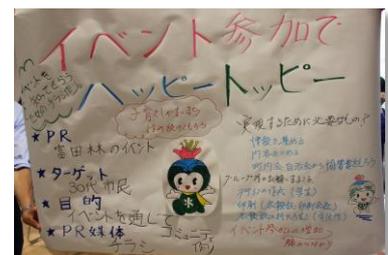
<ターゲット>
富田林市内の30代の方々

<PR 対象>
富田林のイベント

<PR 媒体>
チラシ

<目的>
イベントを通じてコミュニティ作りを行い、子育てしやすい街、住み続けてもらえる街を作る。

<内容>
つながり作りの場となるイベントに参加、またイベントを増やす。
加えて、イベントを知ってもらうためのチラシ作りを行う。



グループ6：景観（寺内町＋自然）のPR

②アイデアの具体化

<ターゲット>	<PR 媒体>	<目的>												
子育て世代 小学生、幼稚園児 富田林に住む若者	大学生に対してアピール 芸大生・大谷大学を通じてアピール	富田林を知ってもらう												
<table border="0" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 45%; text-align: center;">(媒体作成中)</td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 45%; text-align: center;">(媒体作成後)</td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;">(自分たちで)</td> <td> 地元の公園・店舗の下見 寺池で楽しむ おいしい食べ物を探す 子どもが喜ぶ場所探し 子どもが親と楽しめる場所 (食べ物屋さん、自然など) 安心して遊べる場所を探す </td> <td style="vertical-align: top;"> PR のパンフレットを作る 写真を撮る 下調べしたものを まとめた用紙を作成 大学生のボランティア募集 関連する公的事業所と連携 </td> <td style="vertical-align: top;"> 宣伝 大学生のみなさんへ、まず我々が 富田林の良さ、自然(景観)を伝える PR の場作り (学校・幼稚園...) </td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;">(お願いする)</td> <td> PR もとに寄付 をお願いする 教育委員会ですまず話を聞いてもらう 大学に子どもたちとの交流をお願い 電車で案内してもらう </td> <td></td> <td> PR を役所にお 願いする </td> </tr> </table>				(媒体作成中)		(媒体作成後)	(自分たちで)	地元の公園・店舗の下見 寺池で楽しむ おいしい食べ物を探す 子どもが喜ぶ場所探し 子どもが親と楽しめる場所 (食べ物屋さん、自然など) 安心して遊べる場所を探す	PR のパンフレットを作る 写真を撮る 下調べしたものを まとめた用紙を作成 大学生のボランティア募集 関連する公的事業所と連携	宣伝 大学生のみなさんへ、まず我々が 富田林の良さ、自然(景観)を伝える PR の場作り (学校・幼稚園...)	(お願いする)	PR もとに寄付 をお願いする 教育委員会ですまず話を聞いてもらう 大学に子どもたちとの交流をお願い 電車で案内してもらう		PR を役所にお 願いする
	(媒体作成中)		(媒体作成後)											
(自分たちで)	地元の公園・店舗の下見 寺池で楽しむ おいしい食べ物を探す 子どもが喜ぶ場所探し 子どもが親と楽しめる場所 (食べ物屋さん、自然など) 安心して遊べる場所を探す	PR のパンフレットを作る 写真を撮る 下調べしたものを まとめた用紙を作成 大学生のボランティア募集 関連する公的事業所と連携	宣伝 大学生のみなさんへ、まず我々が 富田林の良さ、自然(景観)を伝える PR の場作り (学校・幼稚園...)											
(お願いする)	PR もとに寄付 をお願いする 教育委員会ですまず話を聞いてもらう 大学に子どもたちとの交流をお願い 電車で案内してもらう		PR を役所にお 願いする											



③PR アイデアの完成

子どもたちが富田林を大好きになる交流！

<ターゲット>

富田林市内の幼児・小学生・子育て世代

<PR 対象>

自然・公園などの景観のよさ

<PR 媒体>

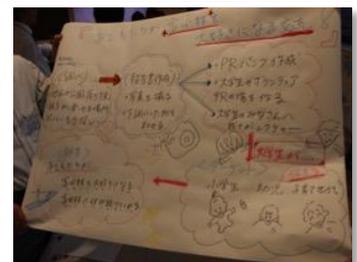
交流できる場を設ける

<目的>

富田林を大好きになってもらい、富田林に住み続けてもらう。

<内容>

大学生が子どもたち(子育て世代)に富田林をPRすることにより、子どもたちに伝わりやすくする。



(3) [アイデア編] のまとめ

第1回では、「富田林のええとこ・ええもん」として、たくさんのまちの魅力が参加者から出されました。その内容は、寺内町やサバーファームなど、これまでも市が富田林の魅力であると捉えPRしてきたものから、参加者の行きつけのお店、石川（サイクリングロード）、住民の人柄など、市民目線ならではの意見や、そこにあるのが当たり前になっているものを市の魅力として再認識する意見が数多く挙がりました。

第2回では、それらの魅力をどのようにPRするかアイデアを練る中で、お店情報の掲載や大学生との連携など、行政では制約があるものや、今まで取り組めていなかったアイデアなども提案されました。これらは、参加者＝住民が主体となって取り組むという前提があったからこそ考案されたものだと考えられます。

最終的に、7つのグループから7つのアイデアがまとめられたことで、「何をPRするか」はもちろん、「どうやってPRするか」についても、市民目線により、市民が主体となることができることを考える機会となりました。



2. [実践編] ～富田林のええとこ・ええもんを一緒にPRしませんか？～

(1) プロセス

〔実践編〕では、〔アイデア編〕で話し合った「富田林のええとこ・ええもんのPRアイデア」をブラッシュアップし、その実現に向けてグループ作業を進め、最終的に4つのPR媒体が完成しました。

(第1回)

①グループ決め



〔アイデア編〕のアイデアを踏まえた4つの**媒体**をベースに、参加者が取り組みたいグループを選択しました。

②PRの対象決め



選択したPR媒体で富田林の魅力の**何をPRするか**を話し合いました。

③役割分担決め



PR媒体完成に向けて、何をしなければならぬか、グループごとに話し合い、**役割分担**を決めました。

④スケジュール決め



グループごとに**到達目標を決定し**、目標達成に向けた**スケジュール**を決めました。

グループごとに自主活動

(第2回)

①住民主体の活動紹介



富田林市内で魅力づくりや発信を行っている**団体や、ひろとんについて**紹介しました。

②活動の振り返り



グループごとに取組内容や現時点の活動報告等を行いました。

③グループで作成作業



PR媒体の完成に向けて、情報共有やパソコンで編集作業を進めました。

グループごとに自主活動

(第3回)

①発表準備



例えばbPR媒体の完成に向けて最後の作業を進めると同時に、披露会に向けた**準備**を行いました。

②完成披露会



パワーポイント資料や印刷した資料の配付など、グループごとに様々な形で**発表**を行い、完成したPR媒体を披露しました。

③投票会



参加者・見学者が、お気に入りの媒体を選んで投票する**投票会**を開催しました。

④結果発表



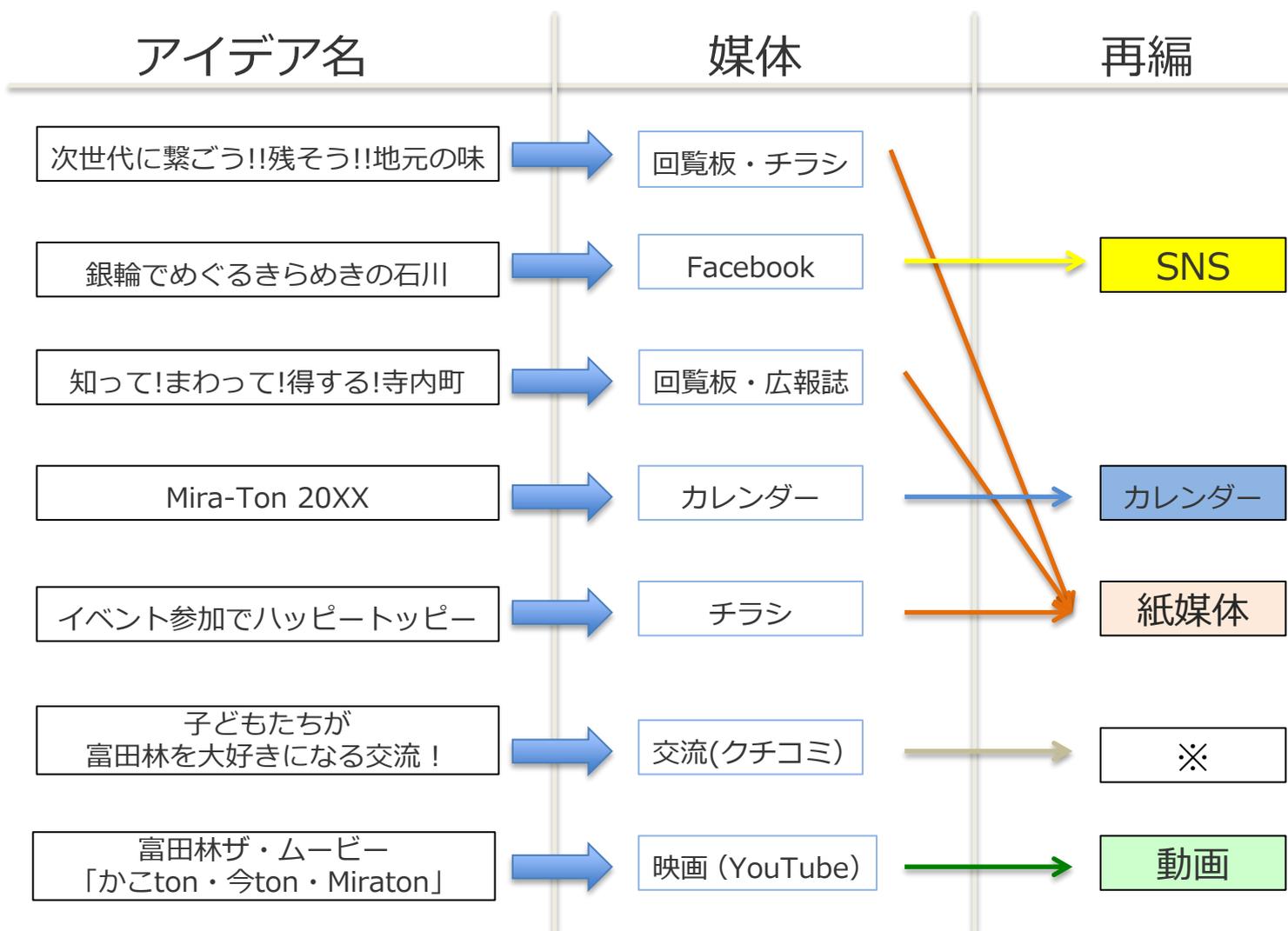
投票会での最多得票グループに、さしみ卵を中心とした**富田林ブランドの詰め合わせ**が贈呈されました。

(2) アイデアの再編

〔実践編〕では、グループワークに入る前に、〔アイデア編〕で企画された7つのPRアイデアを踏まえ、媒体をベースとして4つのグループに再編しました。

〔アイデア編〕の各アイデアにおける媒体は、「回覧板・チラシ」「Facebook」「回覧板・広報誌」「カレンダー」「チラシ」「交流(クチコミ)」「映画(YouTube)」の7つでした。そのうち、「回覧板・チラシ」「回覧板・広報誌」「チラシ」については、「紙媒体」として1つにしました。

※交流(クチコミ)は、PR媒体の完成後の活動となるため、全てのグループに共通する考えとしました。



(3) グループワークのまとめ

「紙媒体」「SNS」「カレンダー」「動画」の4グループに再編したうえで、〔アイデア編〕の各グループで企画されたアイデア内容を基本としながら、PR媒体の完成に向けた作業を進めました。

次頁から、グループごとに、実現したPR媒体の紹介と完成に向けた作業についてまとめています。

チラシでえび芋をPR

＜完成したPR媒体＞



＜内容＞

えび芋の基礎知識から歴史やレシピまで、えび芋の魅力を発信するチラシ。表面的な情報だけでなく、農家の方への取材や、メンバー自身がえび芋調理に挑戦するなど、実際の活動を通して内容盛りだくさんなものになっています。

＜ターゲット＞

市内外のひと

＜作業内容＞

①情報収集

えび芋の歴史や栄養分・効果の調査（書籍・インターネット）、えび芋農家（生産者）の方や現地の取材、えび芋の調理例の考案やレシピ収集

②紙媒体作成

チラシ作成のための構成・デザイン・文章作成・校正等

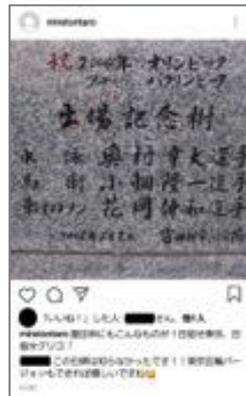
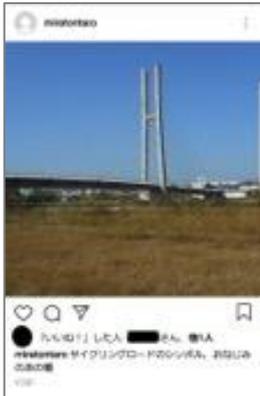
＜今後の展望＞

富田林市内で開催されるイベント、特に食や農業に関するイベント（マルシェや農業祭など）、飲食店でのチラシの設置・配布が考えられます。また、地域の農家の方と協働してえび芋をPRする際の活用や、市外のイベント等でも手軽に活用できるツールとして期待できます。



石川及びサイクリングロードとその周辺の魅力をInstagramでPR

＜完成したPR媒体＞



＜内容＞

石川とその周辺地域の魅力を中心に、誰もが見慣れた風景から、よく利用するからこそ知り得る情報まで、写真をメインに発信するInstagramアカウントを開設（「miratontaro」として公開中）。

住んでいる者にとっては当たり前となっているが、市外から見れば魅力や驚きとなる情報を発信するものとなっています。

＜ターゲット＞

市外の30～40代の子育て世代

＜作業内容＞

①事前準備

SNSについての勉強会を開催、Instagramアカウントの開設

②情報収集

Instagramで発信する際に掲載する写真の撮影、文章作成・編集

③投稿

メンバーが実際に撮り歩いた写真をInstagramに投稿（完成披露会の発表時に初投稿）

＜今後の展望＞

さらに多くの人に向けて効果的な情報発信を行うために、今後頻度を上げて投稿することで、フォロワーを増やすことが必要となります。



ほど良い田舎と住みやすさをカレンダーでPR

<完成したPR媒体>



<内容>

月ごとに富田林市内の風景やイベントの写真を使いデザインしたカレンダー。カレンダーの中には、日時から市内のイベント情報などを即座に取り出せるようにQRコードを掲載することで、カレンダーとしての用途だけでなく、富田林に関わる人にイベント参加を促し、より愛着を持ってもらうきっかけとなるものです。

<ターゲット>

富田林市在住・在勤・在学のひと

<作業内容>

①情報収集

イベント（公的、私的）の情報を収集、景観（季節）や料理の写真を撮影・収集

②媒体作成

カレンダー作成のための構成・デザイン・校正

<今後の展望>

今後は、公的なイベントだけでなく、商店や民間団体などと協力し、お店の情報やイベント情報をより多く掲載することで、幅広い情報発信に繋がり、カレンダーの利用者を増やすだけでなく、カレンダーに情報を掲載する際に掲載料をいただくなどして、さらに増刷する印刷費の確保が見込めます。



歴史、まちなみ、自然、あたたかい心を動画（YouTube）でPR

<完成したPR媒体>



<内容>

富田林市内を舞台とした恋物語を通じて、市内のスポットや魅力をPRする動画。

「若者が富田林を楽しむなら」という目線から物語形式で富田林の魅力をPRすることで、ターゲットの興味を惹くものとなっています。

<ターゲット>

富田林市外の20～30代男女

<作業内容>

①シナリオ

市内のスポット情報の収集、PR動画の台本作成

②撮影

グループメンバー自ら動画出演、動画の撮影

③編集

ソフトを使った動画編集

<今後の展望>

同じような形式でシリーズ化し、富田林のその他のスポットもPRすることが可能であり、今後も継続的なPR動画作成・展開が期待できます。

また、YouTubeなどでの公開の他、市役所や公的な施設で常時放映する方法等により、より多くの人に見てもらおうことができると考えます。



Ⅲ おわりに

“Mira-ton 2018→19”では、参加者自身が富田林の魅力を考え、それをPRするためのアイデアを企画する〔アイデア編〕と、アイデアの実現に向け、企画したPR媒体を作成する〔実践編〕を開催しました。

グループごとの参加者は、〔アイデア編〕から〔実践編〕にかけて、自らが発信したいまちの魅力を考え選択することや、PRに向けて自分たちでできることを考えるグループワークを繰り返すことで、「誰かがする」ではなく「自分達ができる」という意識を積み上げながら作業を進めました。また、PR媒体の完成に向けた作業の中で、メンバー間の交流や地域に出かける自主活動等を通して、まちの魅力の再発見や、その魅力を伝えるために自分達にもできることがあるという認識にもつながったと考えられます。

実現された4つのアイデアを見ると、〔アイデア編〕からターゲットを意識し企画を進めたことで、居住地や年代等、様々な利用者の特性に対し、有効な紙・SNS・カレンダー・動画の4媒体が発案されました。

また、個別に見ると、紙媒体グループでは、本市の特産であるものの、市内・市外を含め、まだまだ認知されていないえび芋のPRについて、魅力を集約したチラシにより、さらにアプローチをかける取組となりました。

SNSグループでは、Instagramを活用することで、若い世代を含めた拡散力に期待できるとともに、長く本市で暮らす参加者ならではの視点によるスポット紹介により、まだまだ知られていない魅力の掘り起こしにつながるアイデアとなりました。

カレンダーグループでは、普段の生活で利用できる書き込み式のカレンダーを媒体に選ぶことで、様々な機会でも手に取ってもらいやすい工夫を行うとともに、各種イベント開催日に配置したQRコードにより、紙媒体を入口に詳細なネット情報につなぐメディアミックス効果を活かしたアイデアとなりました。

動画グループでは、20～30代の若い世代への訴求力を高めるため、動画を媒体として選択し、参加者自らが演じるストーリーの中で本市の魅力あるスポットや人のあたたかさなどを伝えるものとなり、「歴史・自然・人」といった本市の魅力をより身近に感じることでできるアイデアとなりました。

これら4つのPR媒体に共通する効果として、市特産品や市内イベント等のさらなるPR、若い世代に訴求力のあるPRなど、市においても今後さらに進めるべきと認識している課題に対し、市民・学生参加者ならではの視点と特技を活かすことで、新たなアプローチが図られたことがあげられます。

また、これら“Mira-ton 2018→19”における一連の作業を、参加者自らが主体となって取り組んだことは、市総合ビジョンの基本施策「主体的な市民参加と協働によるまちづくり」を踏まえた本事業の目的である「地域人材の発掘・育成」と「市民主体の取組の実現」を進めるとともに、市民主体によりシティセールスの活性化や市民のふるさと愛の醸成にもつながるものとなりました。今後は、この取組や完成したPR媒体をひとつの入口として、行政や市民公益活動団体等とのマッチングなどを含め、市民公益活動支援センターを中心とした支援を行うことで、市民主体による活動のさらなる継続・展開につなげていくことが必要と考えられます。



IV 資料編

1. 自主活動報告

(1) グループ活動の軌跡（取材や会議、個人作業など）について

“Mira-ton2018→19”〔実践編〕においては、全3回の開催時だけでなく、その他の日時でもグループごとに様々な自主活動が行われていました。

(紙媒体グループ)

情報収集のためえび芋畑の見学や農家さんの取材に行きました。また、チラシ作成のために校正会議を行いました。

(SNSグループ)

SNS勉強会を開催し、その場でアカウントを開設しました。また、Instagramでの発信のために写真選定会議を行い、情報収集のために寺内町なべめぐりを訪問しました。

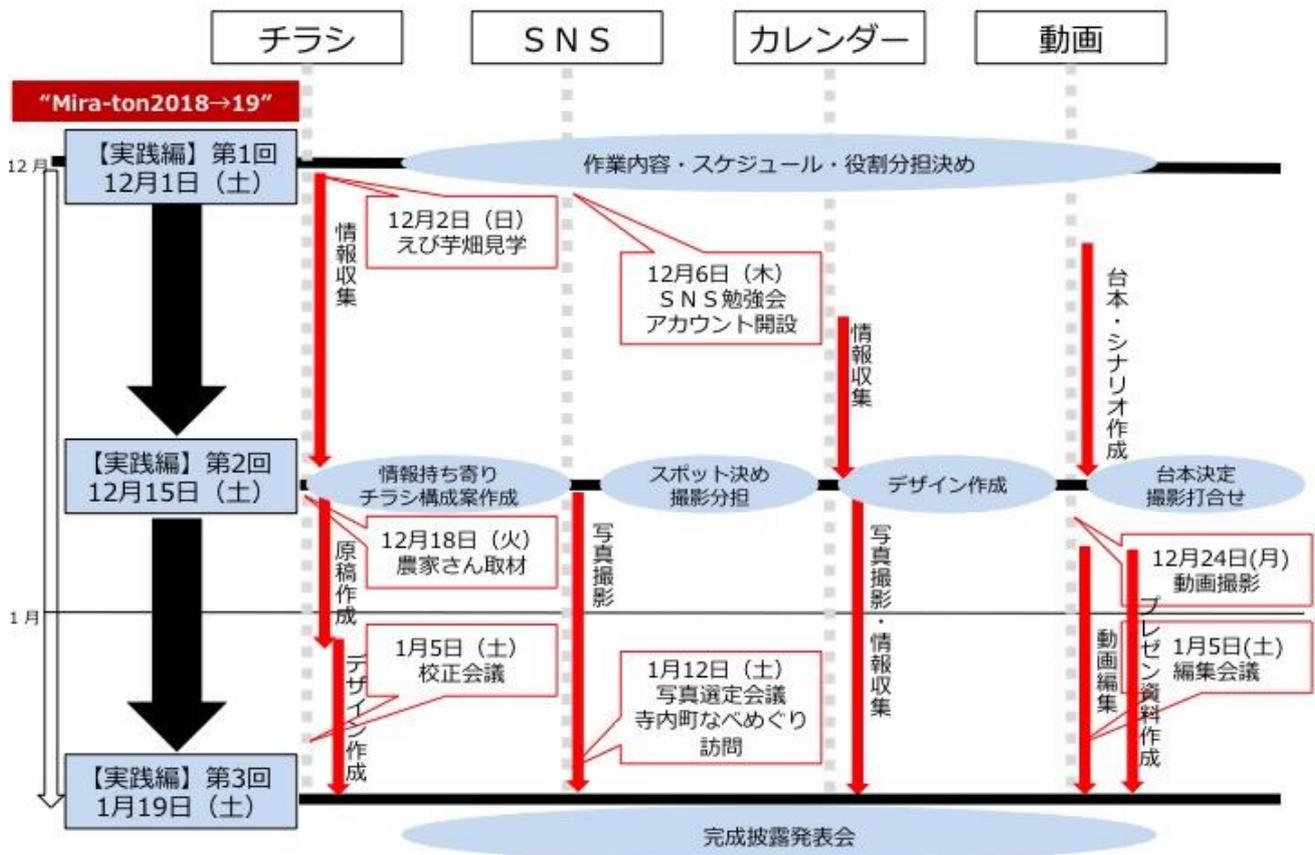
(カレンダーグループ)

各々、カレンダーに掲載する写真やイベント情報を収集しました。

(動画グループ)

動画撮影や編集会議をグループで集まって行い、編集や資料の作成を各自で進めました。

グループごとの自主活動まとめ



(2) 富田林のええもん持ち寄り会について

〔実践編〕第2回終了後には、参加者自身が考える富田林の魅力や富田林にまつわる自分の得意を持ち寄る「富田林のええもん持ち寄り会」を開催し、参加者間での交流をはかりました。

持ち寄られたものは、富田林のええもんブランドになっているお菓子や手作りのジャム、手作りのえび芋の唐揚げをはじめ、参加者によるボランティア活動の話など様々でした。

(「富田林のええもん持ち寄り会」の様子)



(3) 寺内町まち歩きについて

また、「富田林のええもん持ち寄り会」の後には、寺内町の魅力を発見・再確認する寺内町まち歩きを開催しました。

本町公園、交通公園、富田林コロッケ寺内町店、じまいまち交流館、じないまち展望広場、旧杉山家住宅などを訪れ、寺内町の様々な魅力を再発見することができました。

(寺内町まち歩きの様子)



2. 完成披露発表会

〔実践編〕第3回には、それぞれのグループが、完成したPR媒体の発表を様々な方法で行う発表会を開催しました。

その後、参加者及び見学者が、全グループの中からお気に入りの媒体に投票する投票会を開催し、動画グループが最多得票グループとなりました。



(紙媒体グループ)

印刷したチラシを配布し、写真などのスライドショーを放映しながら、チラシの作成過程や内容等を説明しました。



(SNSグループ)

投稿画面や実際に投稿する場面をスクリーンに投影しながら、利点や内容等を説明しました。



(カレンダーグループ)

作成したカレンダーを印刷して配布及びスクリーンに投影しながら、作成過程や内容等を説明しました。



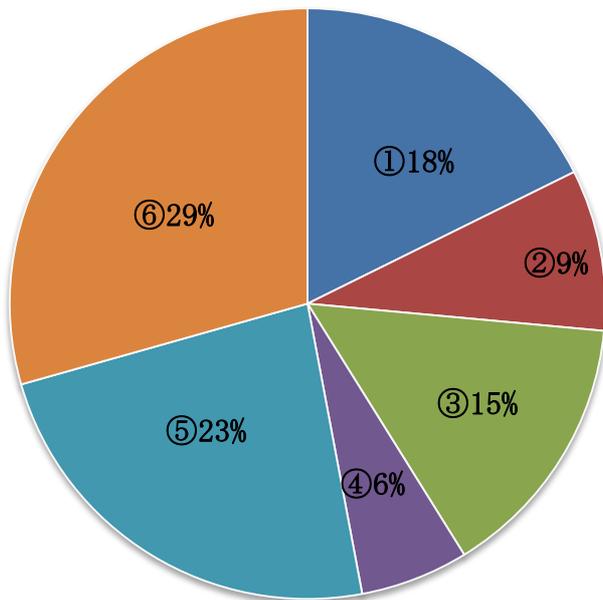
(動画グループ)

パワーポイントで作成したプレゼン資料を使い、動画作成の背景等を説明した後に、完成した動画を上映しました。

3. アンケート結果

(1) アイデア編 (回答総数 34)

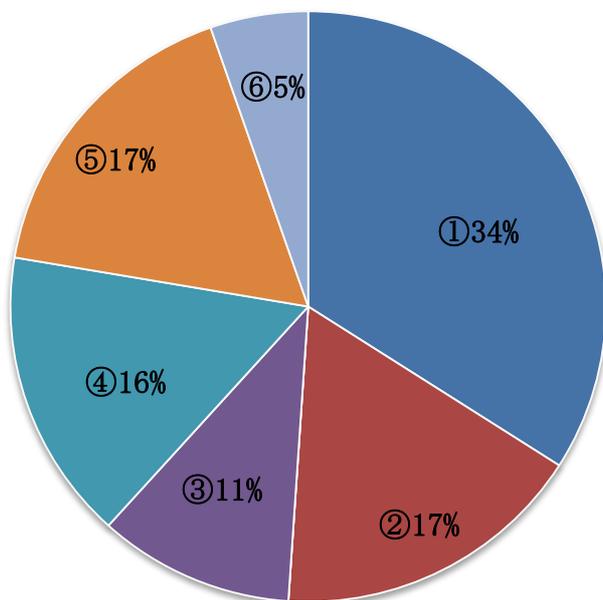
問1 年代



- ① 20歳代：18%
- ② 30歳代：9%
- ③ 40歳代：15%
- ④ 50歳代：6%
- ⑤ 60歳代：23%
- ⑥ 70歳代：29%

問2 Mira-ton”に参加したきっかけについて

(複数回答可)



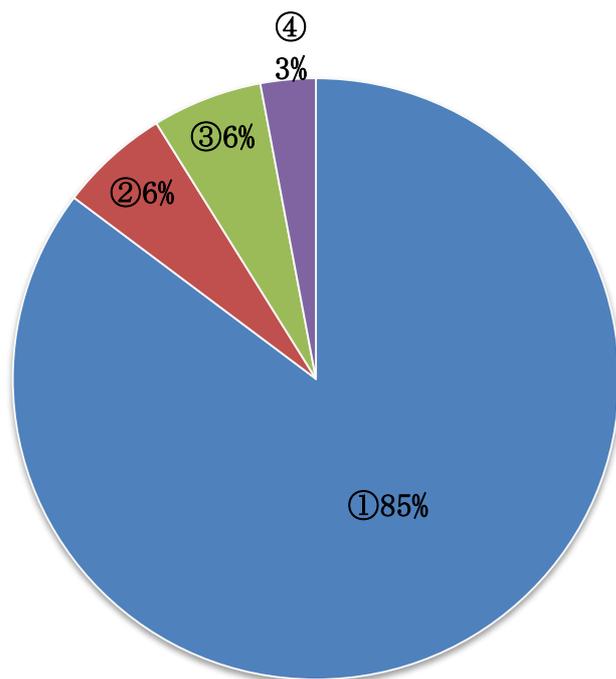
- ① 市政やまちづくりに興味があるから：34%
- ② 人との交流やつながりづくりをしたいから：17%
- ③ なんとなく面白そうだから：11%
- ④ 市から募集があったから：16%
- ⑤ 富田林の魅力を発信したいと思ったから：17%
- ⑥ その他：5%

(その他の意見では)

- ・まちづくりに関心があったから
- ・良い街になって欲しい
- ・大学の先生にすすめられた
- ・富田林市を住み良い町にするため

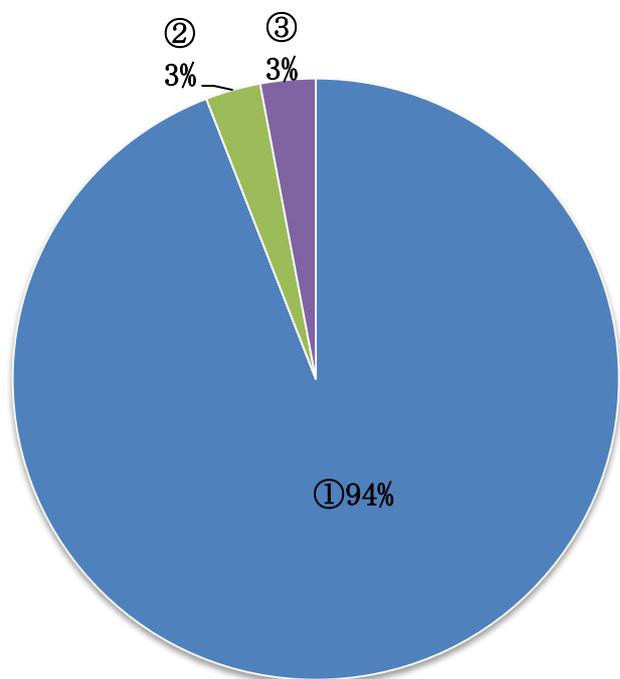
問3 “Mira-ton” について

(あ) 「富田林のええとこ・ええもののPR」という限定したテーマは取り組みやすかったか



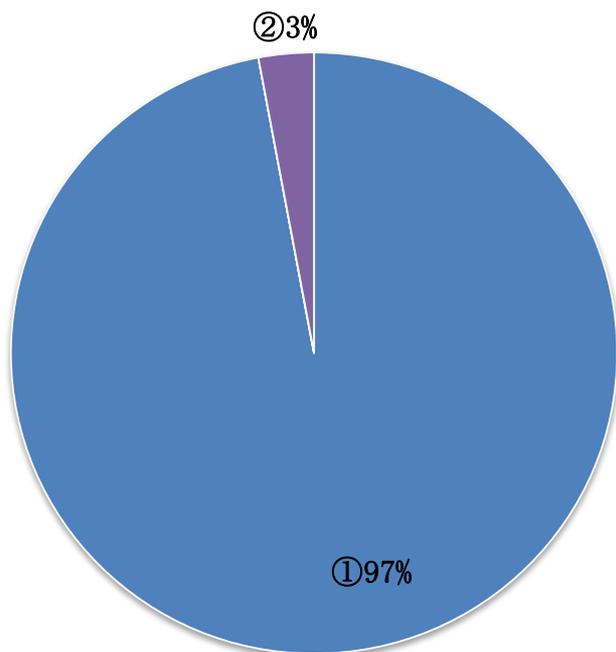
- ① ① そう思う：85%
- ② ② 思わない：6%
- ③ ③ わからない：6%
- ④ ④ 未回答：3%

(い) グループワークの内容はわかりやすかったか



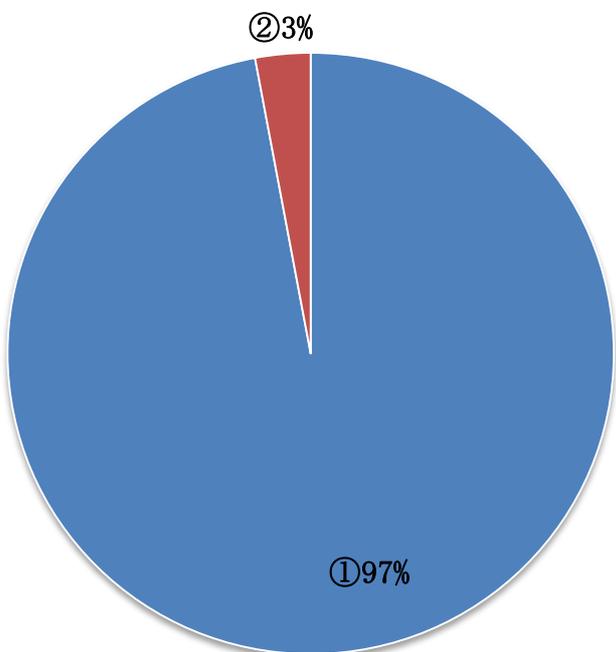
- ① ① そう思う：94%
- ② ② わからない：3%
- ③ ③ 未回答：3%

(う) 日程 (土曜日午後) は参加しやすかったか



① 97%
② 3%

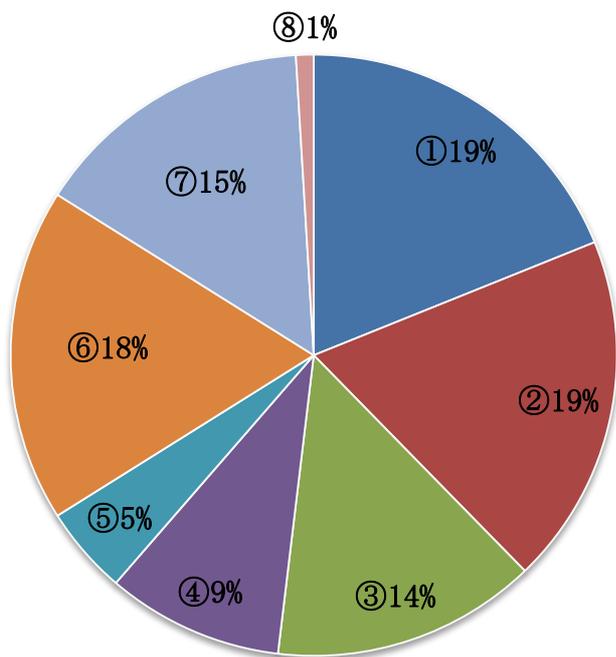
(え) 会場 (富田林市きらめき創造館) は参加しやすかったか



① 97%
② 3%

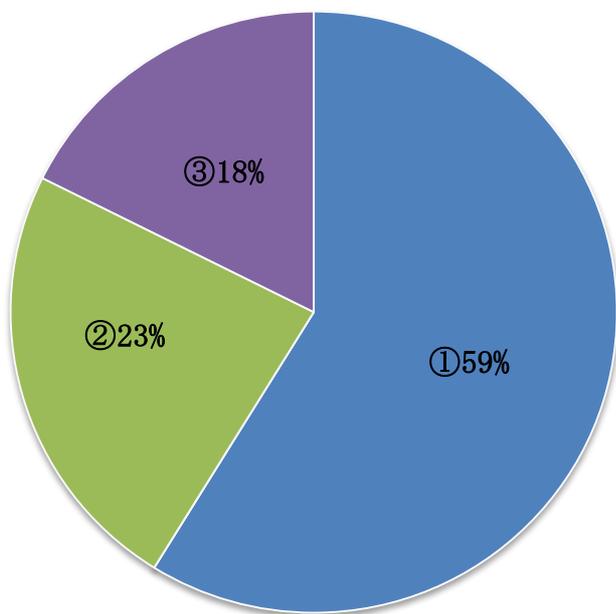
問4 “Mira-ton”に参加してよかったと思うことや変化があったと思うこと

(複数回答可)



- ①地域のことに、以前より興味を持てた：19%
- ②異なる世代の人としゃべることができた：19%
- ③人の話をしっかりきくことができた：14%
- ④自分の意見をはっきり言えた：9%
- ⑤仲間（友達）や知り合いが増えた：5%
- ⑥富田林の魅力を再確認することができた：18%
- ⑦地域やまちづくりのために、
自分も何かやってみたいと思えた：15%
- ⑧その他：1%
(その他の意見)

問5 今後も“Mira-ton”に参加したいか



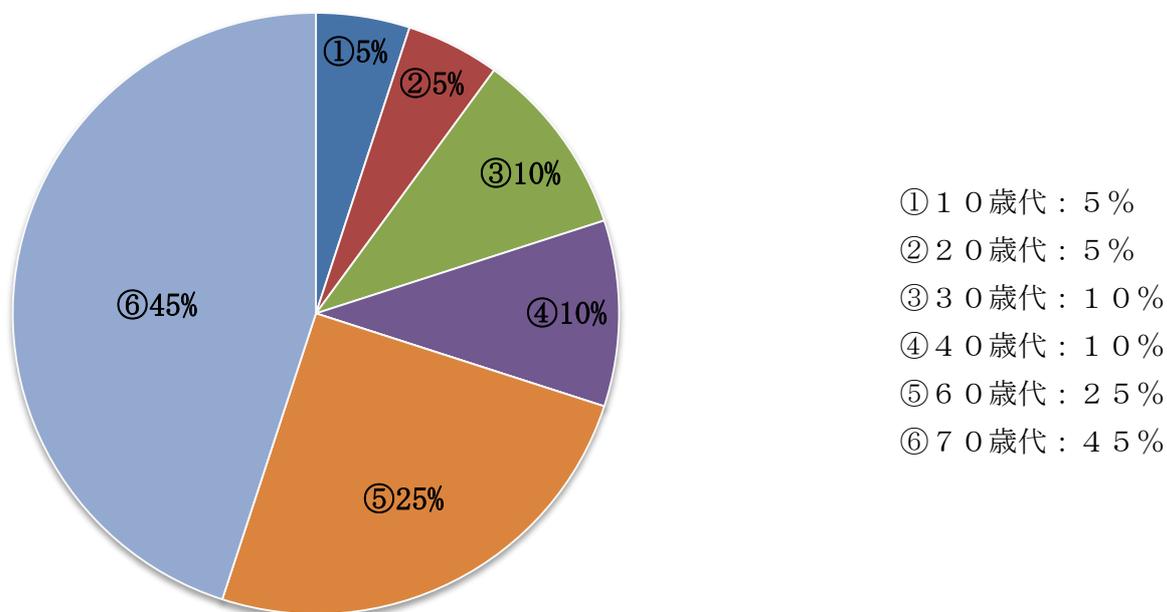
- ①参加したいと思う：59%
- ②わからない：23%
- ③未回答：18%

問6 “Mira-ton”全般についてのご意見・ご感想

- ・たくさんの意見が聞けました。ありがとうございました。
- ・自分に何ができるか分からないけれど、こういう会があると「もしかしたら私にもなにかできることがあるかも・・・！」とほんの少しでも感じられます。これからもつづけてほしいです。
- ・初めて参加しましたが楽しかったです。
- ・特に若い世代の人たちと話し合う機会が持てたことがよかったです。海老芋コロケ、スープおいしかったです。ファシリテーターさんほか、みなさん事務局の方お世話いただきありがとうございました。
- ・今回もすごく楽しく面白かったです。
- ・若い人たちの生の声が聞けてよかった。
- ・もう少し時間が欲しい
- ・雰囲気明るくイベントをグループで楽しく作れたのでよかったです。
- ・”Mira-ton”の経過や結果について、広く市民に知らせていただきたい。
- ・三年目となるがあまり進歩ないと思います。
- ・続けることが大切と思います。

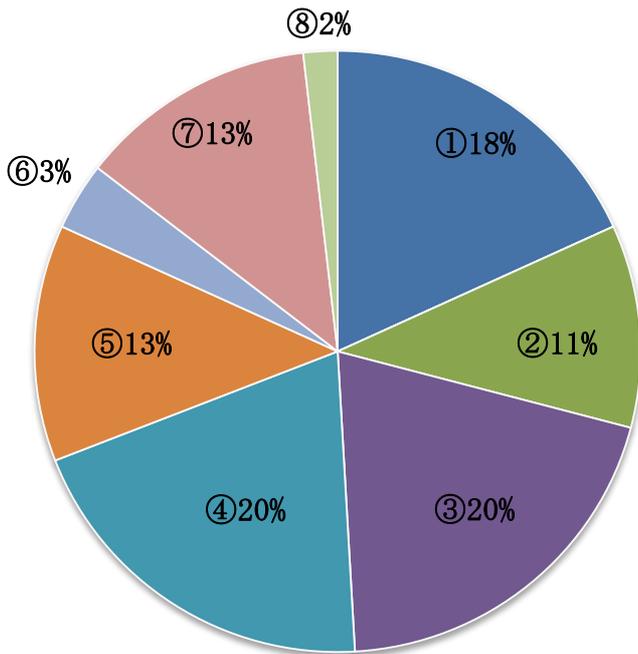
(2) 実践編 (回答総数20)

問1 年代



問2 【アイデア編】に引き続き【実践編】に参加したきっかけ

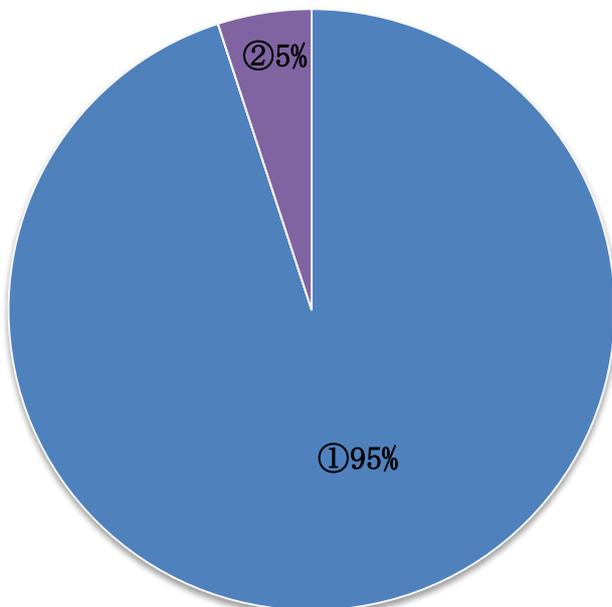
(複数回答可)



- ① アイデア編に参加して良かったから：18%
- ② 自分たちで考えたアイデアを実践したいと思ったから：11%
- ③ 富田林の魅力を発信したいと思ったから：20%
- ④ 人との交流やつながりづくりをしたいから：20%
- ⑤ 実践編がなんとなく面白そうだから：13%
- ⑥ ええもんプレゼントが楽しみだったから：3%
- ⑦ 市から募集があったから：13%
- ⑧ その他：2%
(その他の意見)
「続けることに意味がある！」と思ったから。

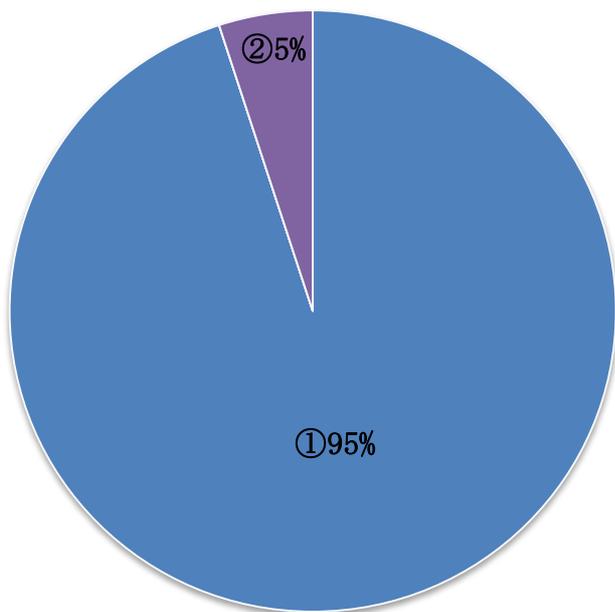
問3 “Mira-ton”について

(あ) 自分たちで富田林市の魅力発信媒体を作るというテーマは取り組みやすかったか



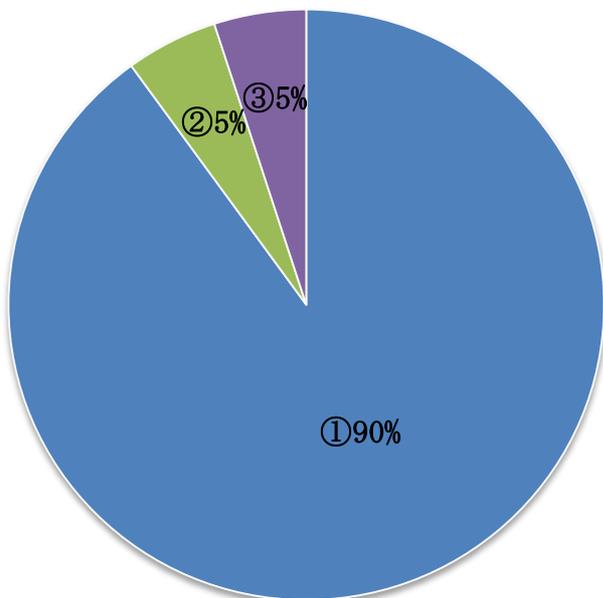
- ① そう思う：95%
- ② 未回答：5%

(い) グループワークの進め方は取り組みやすかったか



- ① そう思う : 95%
- ② 未回答 : 5%

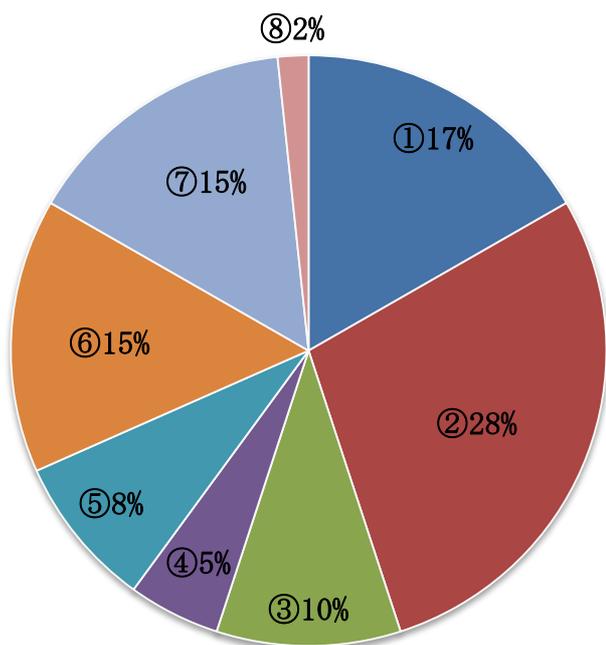
(う) 日程 (土曜日午前) は参加しやすかったか



- ① そう思う : 90%
- ② わからない : 5%
- ③ 未回答 : 5%

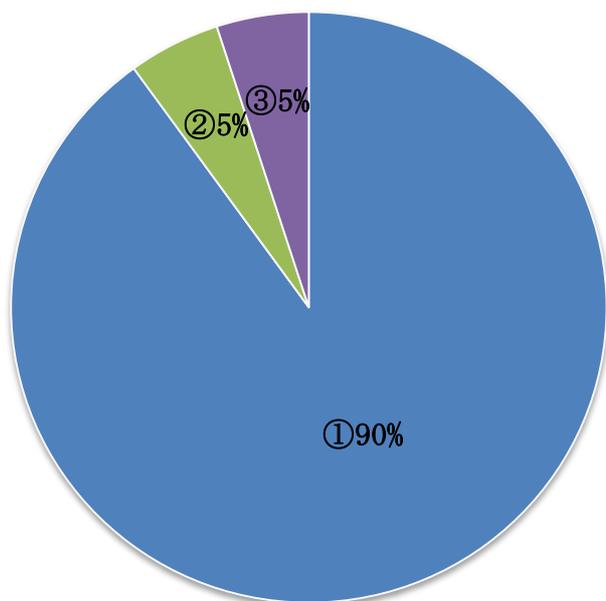
問4 “Mira-ton”に参加してよかったと思うことや、あなた自身に変化があったと思うこと

(複数回答可)



- ① 仲間（友達）や知り合いが増えた：17%
- ② 富田林の魅力を確認することができた：28%
- ③ 富田林市内に出かける機会が増えた：10%
- ④ 媒体作成作業を通して、自分の得意分野を発揮する機会ができた：5%
- ⑤ 写真撮影、取材、SNS など新しいことに挑戦できた：8%
- ⑥ 自主活動などを通じて、地域により一層興味を持てた：15%
- ⑦ 地域やまちづくりのために、もっと何かやってみたいと思えた：15%
- ⑧ その他：2%
(その他の意見)
「何の能力もないと思っていたが、自分にももしかしたらなにかできるかもしれない」と少し感じることができました。

問5 今後も“Mira-ton”に参加したいか



- ① 参加したいと思う：90%
- ② わからない：5%
- ③ 未回答：5%

問6 今後も、“Mira-ton”を実施するとなれば、どんなテーマで話し合いたいか

- ・子育て、防災
- ・高齢者が住みやすい町
- ・富田林在住市民の交流促進
- ・行政と一体となった取り組み！
- ・今回の取り上げたテーマをより深く広く大きくしていきたい。
- ・下の世代に伝えていきたいことを、本当に伝えていけるアイデアを考えたい。
- ・住み良い住宅が多いように考えたい。
- ・未来の展望
- ・安心・安全・美しい街富田林

問7 “Mira-ton 2018→19” 全体についてのご意見・ご感想

- ・初めて参加したが、大変面白かった。あまり役に立てなかったのが残念。寺内町のことを知るきっかけになった。
- ・参加して非常に良かった。
- ・参加メンバーの幅をもっと広げたほうがよいと思います。できればもっと若い世代の方々。
- ・地域づくりの一環として、各地に居住・生活をしている住民がお互いの得意を持ち合い、前向きに考えていることが知れたことはとても自分のためにもなった。
- ・市職員が大変だったと思う。組織としての協力がもっと多ければいいのでは。
- ・とっても充実していました。楽しかったです！貴重な経験。いろんな世代の方と知り合えました。ありがとうございました！これからもぜひ広げてください！
- ・何回も参加してすごく楽しかったです。またあったら参加したいと思いました。
- ・多世代の人々と関わり、1つの作品を作ることができ、嬉しいと思いました。テスト期間と重なってしまい、活動がほとんど参加できなかったのが心残りです。
- ・本当に実現させる（市民などのターゲットに広める、広がるまで）までを、このMira-tonの中でできたら良いなと思いました。
- ・観光アピール
- ・もう少し若い方の参加が欲しかった。
- ・実践では労力があるので、ボランティア以上と思います。費用が出るので・・・

4. ニュースレター

〔アイデア編〕

(第1回)

未来の富田林をあなたと描く市民会議
「Mira-ton 2018→19」

第1回

第1回開催概要
日 時：2018年10月6日(土) 14:00~16:30
会 場：富田林市きらめき創造館 (Topic) 2階
参加者数：36名

今年も始まった市民会議「Mira-ton 2018→19」。
今年のテーマは「富田林のええとこ・ええもんのPR」です。第1回目は、基調講演としてNPO法人SEINの宝楽 陸寛氏から、東北で取り組まれている活動の事例を中心に、「なぜ住民主体による地域の魅力発見・発信が大切か?なぜおもしろいのか?」についてお話ししていただきました。その後、参加者自身が富田林をPRするアイデアを考えるために、「富田林のオススメや自慢」を話し合い、情報発信するターゲットを決めるグループワークを実施しました。

▼たくさんの方に参加していただきました
▼宝楽氏による基調講演

この事業は多くのご協力で実施しています。

第1回開催の流れ

- 自己紹介タイム
- ええとこ・ええもん?
- 市の取組紹介
- なにを?だれに?

「どこから来たのか?」「どうしてMira-tonに参加したのか?」など自己紹介タイムです!

富田林のええとこ・ええもんって何なのか?意見を出し合いました!

都市魅力創生課から、市の魅力発信の取組について紹介しました。

各グループで、何を中心にPRするか考えます!

たくさんええとこ・ええもんが出ました!! (一部抜粋)

特産物・産業 えびず、きゅうり、なすび、えびいもコロッケ、すだれ、竹産工、織業	おみせ あん場、sunship、かむ、松屋、ガリラヤ、Yamao、みなど、オレンジカクテルデー、川田屋、むす子産院、練本カフェ
スポット 寺内町、滝谷不動尊、石川、PLゴルフ場、サイクリングロード、貴氏久藤園神社、ブルーホール一帯	イベント どんぶり、だんじり、ちりんさん、石川餅のぼり、PL花火、四季祭
住環境 教育環境、公園が多い、お医者さんが多い、人が優しい、けあばる、エコルビ、富田大学、子育てしやすい、図書館の蔵書が多い、ランニングコース	自然 サバーブファーム、金剛山、新緑公園、空気が良い、緑、緑地を体験できる、ほど良い自然、自然
	景観 緑多め、リボン通り、イオン駐車場 (ホランダのCM)

各グループのPRするええとこ・ええもんを決定!

なにを?	だれに?
①特産物・産業	若い人やファミリー
②石川 (サイクリングロード) と PLゴルフ場	市外に住んでいる 30~40代の子育て世代
③歴史	市内の方
④ほど良い田舎と住みやすさの再発見!!	市内に在住・在学中・在勤の方
⑤子育てしやすい	30代の市民の方
⑥景観 (寺内町・自然)	市内に住んでいる方
⑦富田林の暮らし	市外の方

(第2回)

未来の富田林をあなたと描く市民会議
「Mira-ton 2018→19」

第2回

第2回開催概要
日 時：2018年10月27日(土) 14:00~16:30
会 場：富田林市きらめき創造館 (Topic) 2階
参加者数：34名

「富田林のええとこ・ええもんのPR」をテーマに開催している「Mira-ton 2018→19」。第2回は、第1回で話し合われた「富田林のオススメや自慢」を、どうすればたくさんの方にPRできるか、PRアイデアの企画をどんどん具体化しました。

その後、グループごとにPRアイデアを発表し、どのアイデアが一番面白かったか、「富田林のええもん賞品」を付けて、投票を実施しました。

アイデア企画の具体化
PR企画のベースとなる「ターゲット」「曜日」「PRの目的」の決定

PR発表のために自分たちで考えていること人にお願いすることに分類し特系列で整理!

グループごとのPRアイデアはこちら!!

グループ1
次世代に繋ごう!!鶏そつ!!地元の味
若い人やファミリー層へ
回覧板・チラシ・地域のイベントを使ってえびずの味をPR!!

グループ2
銀橋でめぐるきらめきの石川
富田林市外の30~40代の子育て世代へ
Facebookを使って石川の自然の豊かさをPR!!

グループ3
知って!まわって!得する!寺内町
富田林市内のお年寄りへ
回覧板・伝言板を使って季節にあった(はへ・ひなめくりなど)寺内町の魅力をPR!!

グループ4
Mira-ton 20XX
富田林市内の方々(住み・働き・学ぶ人)へ
カレンダー(紙・ネット)を使って
程良い田舎と住みやすさをPR!!

グループ5
イベント参加でハッピートッピー
富田林市内の30代の方々へ
チラシを使って富田林のイベントをPR!!

グループ6
子どもたちが富田林を好きになる交流!
富田林市内の幼児・小学生・子育て世代へ
交流できる場を設けて自然・公園などの景観のよさをPR!

グループ7
富田林サマデー
「かごton・今ton・Mira-ton」
富田林市外の20~30代男女へ
映画 (YouTube) を使って歴史、まちなかみ、自然、あたたかい心をPR!!

投票からは、アイデアを実施する【実施編】が勝つよ!

富田林市議会 富田林市議会 富田林市議会

この事業は多くのご協力で実施しています。

富田林市議会 富田林市議会 富田林市議会

〔実践編〕

(第1回)

未来の富田林をあなたと拓く市民会議
「Mira-ton 2018→19」

【実践編】第1回開催概要
日時：2018年12月1日(土) 10:00~12:00
会場：富田林市きらめき創造館 (Topic) 2階
参加者数：21名

全2回の【アイデア編】に引き続き始まった市民会議「Mira-ton 2018→19」【実践編】、「アイデア編」で話し合った「富田林のええとこ・ええもんのPRアイデア」を実際にカタチにしていきます。

【実践編】第1回は、①自分が実現したいアイデアの選択とグループ分け、②アイデア実現のための役割分担決め、③目標達成に向けたスケジュール決めを行いました。

これから【実践編】第3回の完成披露会に向け、4つの媒体別グループに分かれて、「富田林のええとこ・ええもん」を発信するPR媒体を作成していきます！

▲【アイデア編】にも引き続き、グループワークで作成されました。

告知!!
この事業は多くの助成金で実施しています。

第2回 12/15(土)10:00~ 完成に向けたグループ活動とええとこ・ええもん持ち寄り会を開催！
第3回 1/19(土)10:00~ 完成披露会(発表&投票会)の開催！

(第2回)

未来の富田林をあなたと拓く市民会議
「Mira-ton 2018→19」

【実践編】第2回開催概要
日時：2018年12月15日(土) 10:00~12:00
会場：富田林市きらめき創造館 (Topic) 2階
参加者数：20名

「富田林のええとこ・ええもんPR」の実践に向けて開催している市民会議「Mira-ton 2018→19」【実践編】第2回は、第1回で話し合った役割分担やスケジュールに沿って、「富田林のええとこ・ええもんPRする媒体の完成」に向けて、「紙媒体」、「SNS」、「カレンダー」、「動画」の各グループで作業をどんどん進めていきました！

第3回(1月19日(土))は、いよいよ完成披露会(発表&投票会)を開催します！各グループともどのようなPR媒体が完成するのか楽しみます！

▲観望終了後、参加メンバーによる暮らし活動として、「富田林のええとこ・ええもん持ち寄り会」や「町内散歩も歩ま」の【番外編】を開催しました。

告知!!
この事業は多くの助成金で実施しています。

第3回 1/19(土)10:00~ 完成披露会(発表&投票会)の開催！

(第3回)

未来の富田林をあなたと拓く市民会議
「Mira-ton 2018→19」

【実践編】第3回開催概要
日時：2019年1月19日(土) 10:00~12:30
会場：富田林市きらめき創造館 (Topic) 2階
参加者数：23名

「富田林のええとこ・ええもんのPR」をテーマに、アイデア企画から実践までを目標としながら開催してきた市民会議「Mira-ton 2018→19」、ついに、最終回となる【実践編】第3回を開催しました！

当日は、基調講演として「いばらき MIRAI カフェ」代表の藤本 康嗣氏から、茨木市で取り組まれている市民主体の活動紹介を通じ、「地域で活動するおもしろさや継続の秘訣」などについて講演いただきました。

その後、これまでの集大成となる完成披露会を開催し、多田市長も見学される中、各グループが作り上げた個性あふれるPR媒体の発表を行いました。

そして最後に、自分のお気に入り媒体を選ぶ投票会を実施し、最多票を集めたグループに「富田林のええもん賞品」が贈られました。

▲基調講演の様子と発表会の様子です。

告知!!
この事業は多くの助成金で実施しています。

発表内容は1/19日

ついにお披露目！カタチになった4つのPR媒体!!

<紙媒体グループ>
ええとこの歴史や魅力を発信するチラシを作成中！
(進行状況)
・地元の観光さん取材
・ええとこの歴史の共有
・掲載する情報の検討

<カレンダーグループ>
程よい田舎と住みやすさを発信するカレンダーを作成中！
(進行状況)
・情報や写真の持ち寄り
・デザインの検討
・カレンダーの作成

<SNSグループ>
石川のサイクリングロードを発信するInstagramを作成中！
(進行状況)
・アカウントの作成完了
・掲載スポットの検討
・情報収集の役割分担

<動画グループ>
歴史、まちなみ、自然、あたたかみを発信する動画を制作中！
(進行状況)
・撮影スポットの検討
・台本作成完了
・年内に撮影決行

▲基調講演からレシド、歴史まで、富田林名産のええとこ写真情報満載のチラシ！
▲富田林の写真がオシャレにデザインされたカレンダー。QRコードからイベント情報が読み込める機能も！
▲富田林の魅力を発信する動画を制作中！
▲富田林市内を舞台とした動物活劇動画を収録してPR！見事に最多投票を獲得！

※発表されたPR媒体は、今後、公費や配布に向け、さらにグループで検討が進められる予定です。

市民会議” Mira-ton 2018→19” は宝くじの社会貢献広報事業として、宝くじの受託事業収入を財源として実施している「コミュニティ助成事業」を活用して開催しました。



未来の富田林をあなたと描く市民会議

みら とん
“Mira-ton 2018→19”